

令和 6 年 6 月 20 日

広域振興局長

提出者

住所

氏名

岩手県奥州市胆沢小山字菅谷地131番地1

岩手ふるさと農業協同組合

代表理事理事長

菊地 義孝

（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	岩手ふるさと農業協同組合	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県奥州市胆沢小山字菅谷地131番地1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,419 kℓ	*施設番号	
自動車の使用台数	200 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		kℓ
		kℓ
		kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その１（工場又は事業者用）

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(令和5)年度						E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO2)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO2)	対前年度比二酸 化炭素排出量 (t-CO2)	
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL						
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL						
	揮発油(ガソリン)	3.21	kL	107		kL	107	7	12	-4		
	ナフサ		kL			kL						
	ジェット燃料		kL			kL						
	灯油	202.45	kL	7,389		kL	7,389	507	540	-34		
	軽油	50.35	kL	1,913		kL	1,913	132	129	3		
	A重油	1.78	kL	69		kL	69	5	14	-9		
	B・C重油		kL			kL						
	石油アスファルト		t			t						
	石油コークス		t			t						
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	18.97	t	950		t	950	57	57	0	
		石油系炭化水素ガス		千m³			千m³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t					
		その他可燃性天然ガス		千m³			千m³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t					
			コークス用原料炭		t		t					
			吹込用原料炭		t		t					
		一般炭	輸入一般炭		t		t					
			国産一般炭		t		t					
		輸入無煙炭		t		t						
	石炭コークス		t		t							
	コールタール		t		t							
	コークス炉ガス		千m³		千m³							
	高炉ガス		千m³		千m³							
	発電用高炉ガス		千m³		千m³							
	転炉ガス		千m³		千m³							
その他の燃料	都市ガス		千m³		千m³							
	()											
	()											
非化石燃料	黒液		t			t						
	木材		t			t						
	木質廃材		t			t						
	バイオエタノール		kL			kL						
	バイオディーゼル		kL			kL						
	バイオガス		千m³			千m³						
	その他バイオマス		t			t						
	RDF		t			GJ/t						
	RPF		t			GJ/t						
	廃タイヤ		t			GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t						
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t						
	廃油		kL			GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m³			千m³						
	混合廃材		t			t						
	水素		t			t						
	アンモニア		t			t						
その他燃料()												
小 計 ①								10,429	708	751	-44	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ						
	温水		GJ			GJ						
	冷水		GJ			GJ						
	地熱		GJ			GJ						
	温泉熱		GJ			GJ						
	太陽熱		GJ			GJ						
	雪氷熱		GJ			GJ						
	小 計 ②											
	電気事業者①	5,157.70	千kWh	44,563		千kWh	44,563	2,460	2,551	-91		
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh							
自己託送(非燃料由来を除く)			千kWh			千kWh						
自家発電	太陽光		千kWh			千kWh						
	水力		千kWh			千kWh						
	風力		千kWh			千kWh						
	その他		千kWh			千kWh						
小 計 ③								44,563	2,460	2,551	-91	
合 計 ④=①+②+③								54,992	3,168	3,302	-134	

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	1,419	kL
--------------	-------	----

(3)温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	3,168 t-CO2
	上記以外の二酸化炭素	t-CO2
メタンの排出量		t-CO2
一酸化二窒素の排出量		t-CO2
ハイドロフルオロカーボンの排出量		t-CO2
パーフルオロカーボンの排出量		t-CO2
六ふっ化硫黄の排出量		t-CO2
三ふっ化窒素の排出量		t-CO2
合 計		3,168 t-CO2

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和7年度までにCO2排出量を令和4年度比3%及び毎年1%削減するとの目標を掲げていた。

今年度は前年度比約4%削減に成功し、目標を達成した。

※施設の集約化にかかる要因が大きい

参考: 令和4年度二酸化炭素排出量合計値 3,302(t-CO2)

【具体的な取組状況】

- ・東北電力の夏季・冬季節電キャンペーンに参加し、昼食時間中の消灯等、節電対策に取り組んだ。
- ・夏季は室温温度を28℃に設定し、指定ポロシャツの着用等服装の軽装化を実施、クールビズに取り組んだ。
- ・各部署にて月に数回「ノー残業デー」を設定し取り組むことにより、電力・灯油等の使用量削減に努めた。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・エコキャップ回収運動に取り組んだ。
- ・4月と11月にリサイクル活動を実施した。
- ・緑のカーテンの設置活動を実施した。
- ・ペーパーレスシステムを導入し、会議体で運用している。
- ・ノーネクタイ・ノーリボンによる服装の軽装化を開始した。

別紙 その3（自動車用）
1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量（令和5年度）					
自動車			二酸化炭素の排出		燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	183 (4)	87,591 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	200,594 kg-CO ₂	89
軽油	17 ()	13,481 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	35,313 kg-CO ₂	112
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.477 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	200 (4)			235,906.5 kg-CO ₂	92

備考1 保有台数欄の（ ）には、ハイブリッド車の台数（内数）を記載してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令（平成11年
政令第143号）の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】
令和4年度を基準として、3年間で二酸化炭素排出量を3%削減させることを目標に掲げて取組を進めてきたところ、前年度比9%削減となった。
令和7年度の目標値達成に向け引き続き取組を進める。

参考:令和4年度二酸化炭素排出量合計値 259,397.3(kg-CO2)

【具体的な取組状況】
・業務車両の使用について、同一部門内及び部門相互の連携を図ることにより、目的・行先・時間帯等が一致する場合に乗り合わせをするようにしている。
・急発進・急加速をやめる等のエコドライブを推進、実践している。
・アイドリングストップを推進、実践している。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項